



如意ヶ丘

《発行》平成17年12月1日



如意ヶ丘同窓会総会

平成17年8月14日 高岡商工ビル

ごあいさつ



同窓会長

林 秀 治

同窓会会員の皆様、お元気でしょうか。昨年8月に同窓会長に就任し、早2度目のご挨拶となりました。多忙に逐われた月日は殊の外短く感じられ、かつての学舎は遠い昔のように思うこともあった私が、こうして母校をたびたび訪ね、母校の発展のために奔走することとなり、多くの方々のお力添えをいただきつつ任務を遂行しております。旧知の同窓生の方々との再会や新しい出会いもあり、今更ながら我が母校の78年に及ぶ歴史の重さを痛感しております。

さて、平成19年に母校の80年の節目を迎えるにあたり、創立80周年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念事業の準備に着手致しました。そのひとつとして、来年の2月には5年ぶりに同窓会会員名簿を発刊する予定であります。発刊の折には手にとってご覧いただき、懐かしい友の顔を思い浮かべながら、消

息を知る手がかりとしていただいたり、旧交を温める手だてとしていただければ幸いです。

最後になりましたが、「如意ヶ丘国際教育基金」の趣旨にご賛同いただき、ご芳情を賜りました同窓生の皆様に厚くお礼申し上げます。併せて、創立80周年記念事業の遂行のための募金をお願いすることに致しておりますので、一人でも多くの方々のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

今後とも母校と如意ヶ丘同窓会のさらなる発展のために役員一同努力致しますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



「国際交流科」スタート



学校長
西井 秀子

今年度、県下初の「国際交流科」が本校で新たなスタートを切りました。幸い比較的多くの中学生の応募があり、正直安堵しました。しかし、実質の評価はこれからであると全教職員気を引き締めています。本校の「国際交流科」を選択した今年度の入学生が、普通科にはない特色のある科目の学習を深め、生徒各自が描いた進路目標を実現して、3ヶ年の高校生活を経て満足して羽ばたいてくれることを強く期待しています。そのために、わかりやすい授業、外国語習得のための学習環境や海外語学研修体制等の整備に努めています。その一つとして、ホームステイを取り入れた海外語学研修先に、これまでのアメリカ・ロシアに加え、新たに韓国の釜山市ブンゴ高等学校と中国の大連市第十二中学校を交流校と決めました。

もちろん、昨年から掲げているスーパーモラルハイスクールとして、基本的な人間としての

規範意識の醸成や、ボランティア活動をとおりて豊かな心を育むこと等も引き続き一生懸命取り組んでいるところであります。

さて、来る平成19年度には、創立80周年を迎えます。すでにこの夏の本部同窓会総会において、記念事業の実施が決定され、実行委員会も結成されました。これに先立って、昨年、「国際交流科」の新設を機に「如意ヶ丘国際教育基金」が設置され、多くの方々からご協力を賜っているところですが、この80周年記念事業では一層の拡充を図りたいとの意向から、さらなる募金活動が展開されます。重ね重ねですがご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、会員皆様のみまますのご健勝と如意ヶ丘同窓会の発展を祈念いたしますとともに、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

中間報告

「如意ヶ丘国際教育基金」始動

伏木高等学校は、17年度から国際交流科として新たに出版しました。将来の環日本海交流の担い手の育成を目指し、英語に加え、第二外国語としてロシア語・中国語・韓国語のいずれかを履修するとともに、異文化や日本文化も併せて学ぶという特色ある学校作りを目指します。「百聞は一見に如かず」と言いますが、全員が一度はホームステイを中心とした現地研修に参加し、当該国の人々と交流を深め、異文化を肌で感じるというユニークな教育課程が展開されております。

本会といたしましても、国際感覚溢れる人材の育成を側

面から支援すべく、会員諸兄の温かいご賛同を得、16年10月に「如意ヶ丘国際教育基金」を設立いたしました。現在までに370万円超の貴重な篤志をいただいております。本基金はこれまでに、ロシア語学研修やサッカー部の韓国におけるスポーツ交流事業への参加、ホームステイ受け入れ等への助成に役立っており、参加者から喜びの声をいただいております。平成19年の創立80周年には、生徒全員の海外研修のため、一層の充実強化を図ることとしております。

温かいご支援を賜りました皆様に本紙面をお借りし厚くお礼申し上げますとともに、今後とも引き続き本基金への力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総会報告

過去最多の参加で賑わう

伏木高校如意ヶ丘同窓会総会は8月14日、16時より高岡商工ビルで開催されました。

林秀治会長が開会の挨拶、西井秀子校長が学校の近況を報告した後、関東如意ヶ丘同窓会の酒井氏(新会長)と関西支部の木中氏(幹事)に挨拶をいただきました。議事は議長を兼務した林会長によって進められ、平成19年度に迎える創立80周年記念事業の議題を中心に協議し、全ての案件について満場一致で承認されました。

続いて生徒による英語でのスピーチ「私の夢」と、卒業生による留学報告があり、国際交流科に相応しいステージ発表に、会場から盛大な拍手が送られました。

その後の懇親会は、林会長と同窓会顧問の横田氏(県議会議員)の挨拶の後、盤若氏(高岡市議)の乾杯で始まり、終始明るく和やかな雰囲気が進みました。最後は、石須氏(高岡市議)の万歳で締めくくられ、過去最多の参加者で賑わった懇親会は、盛会のうちに幕を閉じました。

(事務局報)

■本部役員

会長	林 秀治(北高8)
副会長	本元 千智(北高6)
	戸沢 克行(伏高10)
	高井 逸朗(伏高13)
	山下 利一(伏高15)
	牧 亨(伏高16)
	嶋 安夫(伏高17)
	神島 高志(伏高17)
	山口 正志(伏高18)
	佐野 邦明(伏高21)
	宇加江 隆(伏高23)
	小泉 哲二(伏高26)
	島田 博司(伏高27)
	数田 昭久(伏高34)
	宮越 一郎(伏高40)

監事

山本 勇喜雄(北高7)
牧野 貞夫(伏高10)
顧問
山下 和夫(北高3)
中尾 正(北高6)
横田 安弘(伏高13)
盤若 進二(伏高20)
石須 大雄(伏高38)
西井 秀子(校長)

■関東如意ヶ丘役員

会長	佐賀 亨好(伏高13)
酒井 敬司(北高6)	四日 哲夫(伏高15)
副会長	中澤 隆範(伏高26)
丸山 彩子(北高3)	事務局長
榎 靖子(北高6)	山岸 清(伏高17)
深原 明(北高7)	会計
川 善市(北高8)	北山 雅子(伏高14)
金子 京子(北高8)	監査
潮見喜 八郎(伏高11)	川口 直弘(伏高16)
米田 清治(伏高11)	顧問
林 尚武(伏高12)	根木 佐明(伏商6)
脇本 信廣(伏高12)	泉田 健夫(伏商10)
常任幹事	正和勝之助(伏商10)
能見 正子(北高6)	清水 正(伏商13)
鶴谷 浩二(北高9)	

■関西支部役員

支部長	麦谷 実(伏商9)	会計監査
副支部長	本元 憲明(伏高1)	奥 誠三(伏高7)
事務局長	高田 昌彦(伏高6)	幹事
会 計	秋元 研三(伏高1)	木中 哲志(伏高2)
		秋常 陽一(伏高6)
		青木 勝栄(伏高6)
		鶴谷 正昭(伏高16)
		山岡 巖(伏高16)
		島田 正人(伏高17)

関東如意ヶ丘同窓会より

副会長 林 尚武 (伏高12回卒)
事務局長 山岸 清 (伏高17回卒)

去る7月3日、第9回如意ヶ丘同窓会関東支部総会がアルカディア市ヶ谷(千代田区九段)において開催され、東京・神奈川・千葉・埼玉各県より39名の会員と本部からの来賓として林秀治会長、西井学校長、事務局高田さん、東京富山県人杜の方々に出席いただきました。



林副支部長の司会進行により、支部長挨拶・来賓祝辞・事業報告・会計報告・監査報告があり、それぞれの議題は了承されました。また、如意ヶ丘同窓会関東支部の呼称を『関東如意ヶ丘同窓会』と変更する提案も賛同を得、同時に関連する会則変更・修正提案も了承されました。

《役員改選》

新会長に酒井敬司さんの就任を発表し、全員より拍手にて賛同を得ました。役員改選では大幅の役員増員を行い、酒井会長より委嘱・指名を受けた21名がそれぞれ自己紹介を兼ねた挨拶を行いました。

《如意ヶ丘国際教育基金》

林会長(本部)より、母校の国際交流科設立に関し、海外留学制度の経費補助策としての基金であるとの説明があり、山口副会長(本部)が地元企業への訪問お願い活動を行っているとの説明がありました。関東如意ヶ丘の皆様へも改めてご協力を、との挨拶がありました。

《懇親会》

乾杯の挨拶に続き、個々の席で級友同士の杯交換があり、曳山・勝興寺・氣多神社・堤など、在学当時の楽しい思い出話が飛び交っていました。

浜陽子さん(本校卒・テイチク歌手)が特別出演され、持ち歌の「おらっちゃ港」「黒部・立山・アルペン賛歌」にアンコール曲の「こきりこ節」をプロ歌手の大声量で聴くことができました。最後には越中おわら節にあわせて、10人の方が優雅で哀愁を帯びた踊りに参加され、一層盛り上がりました。

伏木商業・伏木高校(高岡北部)両校歌斉唱を声高らかにを行い、酒井新会長の音頭で同窓会及び母校の発展を祈念し、万歳三唱を唱和し、また西井校長より関東如意ヶ丘同窓会の発展と会員のご健勝を祈念いたしますとの答礼がありました。

最後に林副会長より閉会挨拶があり、来年は関東支部節目の10周年、ひとりでも多くの仲間の出席を期待しますとの閉会宣言を受けて、名残惜しき解散となりました。

関西支部より

事務局長 高田 昌彦 (伏高6回卒)

光陰矢の如し。去年は地震と大津波、最近ではハリケーン、そしてJR福知山線の脱線事故、これは大阪近辺在住の関西支部会員にとってはまさに驚愕の事件でした。また関西支部総会案内の往復ハガキを支部会員に送付した後で突然衆議院が解散され、総選挙の投票日と案内した支部総会開催日が重なるというハプニングにも遭遇しました。

その9月11日(日)、第9回関西支部総会が、大阪はミナミのど真ん中で、いけす船頭料理の「和田幸」を会場として開催されました。ご来賓に林秀治同窓会会長・山口正志副会長そして西井秀子学校長をお迎えし、支部会員は総勢23名での総会となりました。

麦谷支部長、林同窓会長、西井学校長の開会挨拶の後、上程された議案はすべて承認され、任期満了に伴う改選は別記の通りとなりました。さらに本部より活動補助金が林会長から麦谷支部長に授与され、一同拍手で謝意を表明しました。

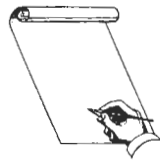
続いて懇親会に移り、北高第2回卒業生でダンスとカラオケが得意な呉谷栄治様の発声により元気よく乾杯し、和気あいあい歓談のひとつときとなりました。

林会長・山口副会長・西井校長は各テーブルを回って支部会員と親しく会話を交わされていました。舞台にはカラオケ装置があり、各自が選曲して自慢の喉を披露されましたが、麦谷支部長は相当ご酩酊の様子で足もとをふらつかせながらマイクを握ったまま、モニター画面に伏木商業の校歌表示されるのを待っているという微笑ましい一幕もありました。続いて、伏高16回卒業生の鶴谷正昭幹事の主導によるトヤマ名産品争奪じゃんけん大会が行われ、全員が名産品を手にはしましたが、いい大人がジャンケンホイとやる光景は皆さん若々しくてイキイキしていました。

やがてお開きの時間となり、本部同窓会副会長山口正志様に万歳三唱をお願いしました。閉会の挨拶には北高第1回卒の関西支部副支部長で、山登りのオオソリティー本元窓明様から来年の再会を楽しみにとの言葉で、午後2時頃の散会となりました。ちなみに当日のトヤマ名産品は、トナミ運輸の手配及び宅急便でした。

道頓堀のスナックを貸し切ったの歌い放題、飲み放題の2次会もそこそこに選挙結果が気になり、今夜は夜半までの報道番組をと思いながら家路を急ぎました。





国際マスターウォーカーになって

野田 明 (伏高14回卒)

キザかもしれませんが、高校時代の一番の思い出は試験の時です。それは、とても苦しかったからです。その苦しみを乗り越えて親友とトップを争った充実感があったからです。

「寝て、食べて、勉強する」。一日の生活の中でのこの3つのスリムな生活こそ生きがいとなったのです。2004年3月に定年退職しましたが、高校時代を振り返って「寝て、食べて、歩く」スリムな生活をして国際マスターウォーカーを目指しました。

国際マスターウォーカーとは、日本を含む国際マーチングリーグに所属する8カ国のウォーキング大会で、1日20キロ以上、2日間以上完歩した人のことです。

日本の大会は1987年に、オーストリアは1990年に私は完歩していますので、残り6カ国の大会を2年かけて挑むことにしました。

2004年は6/5～6・第37回ルクセンブルクアーミーマーチ、6/26～27・第36回デンマークハーベスマーチに参加し、いずれも1日20キロ2日間を完歩。また、7/20～23には第88回オランダ国際フォードーマーチ、1日30キロ4日間を完歩しました。ウォーキング発祥の地のオランダはとても苦しかったのですが、ナイメーヘンの街をあげての声援が後押しをしてくれて、もう一度歩きたい気持ちになりました。

今年はもっと外国の参加者や街の方々との交流を深めようと語学堪能な女房と歩きました。4/23～24・第46回スイスツデーマーチ、4/30～5/1・第36回ベルギーツデーマーチ、2年続けてのデンマークと各大会いずれも1日20キロ2日間を完歩しました。そして、6/30～7/3・第39回アイルランド国際フォードーマーチで1日20キロを4日間完歩して、総計540キロを歩き、国際マスターウォーカーとしてキャッスルパーの市長から表彰されました。

各大会会場は、旅行パンフレットに載っていない自然を満喫できる素晴らしい所を選んでいきます。歩きながら環境の大切さを学び取ることができます。

私は、この9月に幼稚園長として職場復帰しました。この国際大会の経験を生かして、子どもウォークを日本で広めていきたいと意欲的に取り組んでいるところです。

最近思うこと

大波加 肇 (伏高29回卒)

今年の夏、地球温暖化防止対策を目的に環境省が提唱した「クールビズ」に賛同し、涼しい夏を過ごされた諸氏も多いと思う。私も、上着はもとよりネクタイも外し快適な夏を過ごさせていただいた一人である。この取り組み、しゃれた名前が功を奏して、マスコミが積極的に取り上げるなど結構話題を呼んだのではないと思われる。気をよくした当局は今冬にむけ「ウォームビズ」なるものも提唱し、2匹目のドジョウを狙っているようだ。

政府は、京都議定書が発効した今年を温暖化防止元年と位置付け、国民が日常生活のなかで実践しやすい6つの取り組みを掲げるとともに、企業なども巻き込みながら国民運動を盛り上げようと真剣に取り組んでいる。

一方、ここ数年、企業に対して企業倫理や社会的責務が厳しく求められるようになってきた。企業は「CSR報告書」などで、自らがやっている環境保全への取り組みを積極的にアピールしている。企業が生き残るためには中長期的な視点で、消費者から信頼され選択される企業を目指すことが必要であり、短期的な利益だけを追求すれば社会から見放される。このような背景も後押しし、企業はコストを意識しつつも「環境」にお金をかけるようになってきた。

また消費者に目を向けてみると、最近では自分にとって気持ちよく、かつ環境や健康に貢献できるLOHAS (Lifestyles of Health and Sustainability) 的な生活を志向する人たちが増えている。LOHASな人たちは、環境や健康を守るために従来のようにやりたいことを我慢したり無理をするのではなく、自らの生活をエンjoyする。例えば、健康に気を遣い多少金額が高くても体にいいものを選んで食べる、また愛車は環境にやさしいハイブリッドカー、お風呂はお湯が冷めにくい浴槽を使用するという具合だ。

このように政府はもとより、企業も消費者も、いま環境保全という方向性にむけてベクトルが一つになりつつある。快適な生活を維持しながら、地球環境にやさしい社会を形成する。いいことじゃないか。

私にとって今夏の「クールビズ」は、少し真面目に、こんなことを考える機会を与えてくれたようだ。



2005年インターハイ、体操競技を観戦して

深原 明 (伏高7回卒)
体操部OB

個人出場ではあるが、出場者の最終の順番で、跳馬のスタート位置につく2年生の畠山直聴君、審判席のコールサインをうける。右手をあげて、大声で「お願いします」。

緊張感も最高に達し、「助走」開始、スピードを上げながら最高速の出た瞬間、ロイター板での踏切を力を込めて最大限の跳躍にきりかえる。「腕立て前方転回跳び」の前半姿勢に入る。前方馬首に着手すべく、より高い位置で姿勢を整え着手に向かう。「着手」、見事に決めている。愈々後半に入る。前半のスピードと体全体のバネ(筋力)を両腕で受け止めながら、着手の両腕の力強い突き放しで、体全体を上方に浮かせながら姿勢を整え、最後の「着地」だ。決まった。微動だにしない。

顧問の多賀誠志先生との固い握手と、応援の我々の拍手は、気持ちがひとつの態だ。

審判員の評価は、**9.45**。畠山選手の満面の笑顔が、すべてを語っていた。終わり良ければ、すべてよし。最前列の応援席からフロアに向かい、「畠山君！良かったよ！」の声掛けに、ニッコリと笑顔での応答。50年前の自分の姿を見ているような錯覚を覚えた次第。

小生が、高岡北部高校に入学したのは、昭和27年の春、故竹村雄一先生の指導の下、厳しい不況の中、ほとんど無の練習環境から、設備の充実を目指し、尽力頂いたのが印象にあります。

昭和38年度には、故滝山秀範先生の指導の下、富山県で団体での初優勝を遂げました。チームで活躍した佐賀潔氏は大学に進学、鞍馬の種目で抜群の技能を体得され、全日本選手権で第2位、国体では2年連続の1位の栄冠に輝きました。鞍馬に弱かった日本の体操が、世界に通じる「鞍馬の日本」となる、その大きな礎を築かれた功績は、全国の体操愛好家が尊敬する所以です。このことは、伏木高校の誇りと広言できます。

『富山県の体操50年のあゆみ』の資料によれば、41年には三木修先生、55年には木原勝之先生と40年以上にわたっての指導と、部員ひとり一人のためまぬ情熱が、輝かしい金字塔を打ち立て、今もその明かりを灯し続けてきていることがわかり、皆さんに心からの敬意を表する次第です。

終わりに、これからもこの伝統を引き継ぎ、自己実現を目指しての活躍を期待いたします。



大学卒業を前にして

江田 乃梨子 (伏高54回卒)

私が伏木高校時代に得たものは、何事も最後まであきらめず頑張り続けるということでした。それは、大学に入り、ダンス部や高校時代から続けてきたバスケットボール部に入部したことや、多くの実習を通してたくさんの人と出会い、触れ合うことで気付くことができました。

高校時代のバスケ部では、仲間や先輩・後輩に恵まれ、その仲間と毎日練習に励みました。二年生のときは、周囲から無茶だと言われた“よさこい”を100名近くの生徒で行い、大会に出演したりすることで多くの仲間と出会うことができました。

大学では昨年、総勢70名近くの部員を率いるダンス部の部長をさせていただきました。部活には、練習以外にも、石川県内のいろんな祭りでダンスを披露したり、**障害者施設や高齢者施設**の催し物やボランティアに参加したり、合宿やパーベキューなど楽しいイベントも多くあります。さらに、年末には大きなホールを借りて公演を自主的に行ってきました。9月からの本格的な練習合宿、毎日のように練習を行い、練習のことで仲間と衝突したり、辛くて逃げ出したくなる時もありましたが、それを乗り越えられたのも、周りにいる仲間や先生がいたからこそです。そして、何よりも高校時代に部活やいろんなことに取り組み、励んだ経験があったことだと思っています。

私はこれまで、多くの人に出会い、その優しさや厳しさに触れることで、成長することができました。そして、今まで私を支えてくださった先生方、友達、仲間に出会えたことに本当に感謝しています。大学も4年目になり、あと数ヶ月で卒業を迎えようとしています。来春からは社会人になり、辛くて悩むこともたくさんあると思いますが、今まで支えてくださった人達がいるからこそ、今の自分があるんだということを肝に銘じながら、これからも日々頑張り続けていきたいと思っています。

あきらめないこと、やるべきことに一生懸命になること、これを教えてくださった先生方、仲間たちに出会えた伏木高校に入学、卒業できたことを自分の誇りに感じています。そして、これからの伏木高校のさらなる発展を期待しています。



北部高校第4回卒業生の同窓会の実情

能 和 秀 幸 (北高4回卒)

この「会」は、昭和27年3月の商業科・家庭科卒業生と、戦後の学制改革で出来た併設中学を昭和24年3月に巣立った同輩にも、今より10年程前から呼び掛け、幅広く多くの皆さんに参加していただいています。

お陰様で、60名以上の出席で推移してきました。ここ1、2回は減少したといっても40名台を維持しております。

これまで、それぞれの皆さんが、いろいろと同窓会を開催していらっしゃると思いますが、実施回数では私達が群を抜いて多いのではないのでしょうか。正確な回数は50年も経ちますと定かではありませんが、卒業以来3～4年に1度実施してきて、毎年開催をとの声もありましたが、ここ10年程前から隔年実施しております。最近では、平成11、13、15、17の各々の年に開いています。

自慢できる事柄は沢山あります。たとえば、会員同士大変仲が良く、日頃から深い付き合いがあるという事です。遠方の友人の消息等でも即座に知らせてもらえる程の固いつながりをもっています。時には何人かまでまとまって小旅行にも出掛けます。さらに、いつの同窓会でも他にない和氣藹々とした雰囲気がある事です。県外からの参加者が中心になって、全体会だけでは名残惜しいと、場所を変えてもう一泊するグループが出来る程です。

平成17年の集まりは、9月4・5日の両日、砺波ロイヤルホテルで、商業科の担任だった高井政一先生をお迎えし、43名の参加で行いました。初日は18時より懇親会、翌日は朝9時からバスで世界遺産相倉合掌集落・岩瀬家・行徳寺を散策し、ささら館で昼食後、家路につきました。天気予報は「風やや強く雨激しく降る」だったので心配しましたが、学生時代に戻った老人達のパワーを恐れてか、大きな風雨にもならず、無事2日間を過ごしました。



相倉合掌集落にて

同期会報告

昭和39年3月(第16回卒)

還暦同窓会

日 時 ● 平成17年5月28日～29日(1泊2日)
場 所 ● 雨晴温泉 磯はなび(高岡市太田)
恩 師 ● 中村先生・山本先生
出席者 ● 3H(18名)・4H(15名)・5H(17名)

平成17年は、私達16回卒業生の人生の折り返しともいえる還暦の年にあたります。

そこで、還暦同窓会を開催してはと宮崎明氏(今同窓会発起人代表)より、3H～5Hの数名の有志(後の幹事)に声を掛け、5・6回の会合の末、目出度く開催する運びとなりました。

受付当日、

えっ、あの人 だれけ? だれけ?…

何ホームの人やったけ…

なあ～ん、ちごた人やちゃ…

なんゆうとるがい…3ホームの○○さんやなかい。

ほんとや、ほんとや、なんちゆう変わったがけ…

あははは…

久しぶりに会う顔・顔・顔、戸惑いながらも楽しく愉快に、会費を納めるのを忘れ立ち話。「あんだ、久しぶりやねえ～元気やったあ～」「お前、息しとったがかい」等々、受付席はテンヤワンヤ!

慌ただしい中にも無事受付が終了し、写真撮影。これま

たワイワイガヤガヤと学生時代に戻って「ハイポーズ」「笑って、笑って」と爆笑の中、無事撮影会終了。また、司会者の唱導で物故者の方々に黙祷。

そして発起人代表挨拶、次にご来賓の恩師中村先生、山本先生のご挨拶、乾杯を受け、懇親会がスタートしたと思いきや、席を立ってお酌する者、恩師にご挨拶、はたまた昔想いをよせた女性に告白する者、2人きりでお酒を酌み交わす者、さすが久しぶりに逢ったのか、あちらこちらで話の輪が広がりました。

酔うほどにムードが盛り上がった中、誰もとなく「各クラブ時代の写真を撮ろうよ」と、次々にステージに上がり、さまざまなポーズでのスナップ写真、あるクラブが校歌を歌い出すと次第に会場は割れんばかりの合唱の渦…。

時の経つのも忘れた、楽しくて思い出多き還暦同窓会でした。

翌日、朝食後、全員でまた逢う日を約束し、会場を後にしました。

(3H幹事 曾田)

//// 生徒一人ひとりの自己実現を支援する進路指導 ////

将来の自己実現のために

進路指導部長 山崎 幸子

進路指導部では、本校生徒がしっかりと自己実現できるよう、様々な企画を行い、支援しております。

7月の「職業人講話」では、PTAや同窓会の皆様方のご協力を得て、様々な職業についての苦労話や生き甲斐等を聞かせていただきました。これは、生徒にとってまさに生きた授業で、将来のことを考える上で非常に重要な役割を果たしております。また今年度は、例年の進路講話に加え、2年生は夏休みにオープンキャンパスを経験し、3年生は小論文の演習等を行っております。1年生では、10月下旬に「伏木地区企業訪問」を実施し、また11月には、石川県へ大学訪問に行きましたが、国際交流科第1期生として、広い視野に立ち、高きを目指した進路選択をしてほしいと願っております。

将来を担う若者の健全な育成のためには、ますます地域や同窓会のご援助をお願いすることになるかと存じます。今後一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

平成16年度 進路別現役合格者数 (延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	3名	金沢・新潟・岐阜
私立大学	86名	亜細亜・国士館・駒澤・帝京・東海・日本・立命館・阪南・日本福祉・愛知学院・京都産業・京都学園・関西外語・関西・金沢工業・金沢星陵・北陸・富山国際・福井工業 など
国公立短大	6名	高岡短期・大月短期・三重短期 など
私立短大	20名	京都光華女子短期・富山短期・富山福祉短期 など
文科省管轄外	2名	北陸職能大学校・東海職能開発大学校
専門学校	61名	富山県立技術・石川県立理美容・厚生連高岡看護・高岡医師会看護・高岡市立看護・富山情報ビジネス など
就職	12名	日本郵政公社 伏木海陸運送(株)・(株)ピューマ・(有)ティ・エス・ホテルニューオータニ高岡 など

部活動報告

Fushiki High School

◇◇◇ 平成17年度部活動の記録 ◇◇◇

〈体操部〉 全国高校総体出場

- 富山県高等学校春季大会
 - 女子団体総合 第2位
 - 男子個人総合 優勝 島山 直聴(2年)
 - 男子種目別(平行棒・つり輪) 各優勝 島山 直聴(2年)
- 富山県高等学校総合体育大会
 - 女子団体総合 第2位
- 第58回富山県民体育大会
 - 少年男子個人総合 第2位 島山 直聴(2年)
 - 少年男子(鉄棒) 第2位 島山 直聴(2年)
- 富山県高等学校新人大会
 - 女子種目別(ゆか) 優勝 沖崎 悟子(2年)
 - 男子個人総合 第3位 島山 直聴(2年)

〈陸上部〉 北信越大会出場

- 富山県高等学校対校選手権大会
 - 女子3000m競歩 第3位 伊東 由貴(3年)
 - 女子3000m競歩 第4位 松本 亜樹(2年)
 - 女子400m 第6位 加藤 千明(3年)
 - やり投 第7位 寺西 祐慶(2年)
 - 男子円盤投 第8位 泉 広志(3年)
 - 女子円盤投 第8位 村本 恵理(2年)
- 第58回富山県民体育大会
 - 成年女子10,000m競歩 第2位 伊東 由貴(3年)
- 富山県高等学校新人大会
 - 女子3000m競歩 第2位 松本 亜樹(2年)
 - 女子円盤投 第4位 村本 恵理(2年)
 - 女子3000m競歩 第5位 辻 弥生(2年)
 - 200m 第6位 鈴木 良平(2年)

〈吹奏楽部〉

- 全日本吹奏楽コンクール富山県大会 金賞
- 中部日本吹奏楽コンクール富山県大会 銀賞

〈その他〉

- 富山県高等学校総合体育大会空手道競技 北信越大会出場
- 女子個人形 第3位 中村 美貴(3年)
- 富山県高等学校新人大会 北信越大会出場
- ボクシング競技(1・2年の部ライト級) 優勝 狩野 元気(2年)

◀ 琴部
第29回
全国高等学校総合文化祭
青森大会
日本音楽部門出場



インターハイの感想

体操部 島山 直聴 (2年)

今回、初めてインターハイに出場することができました。インターハイは思っている以上にスケールが大きいものでした。練習場に入り、他県の選手のアップや練習を見ただけで自分との力の違いを感じました。他県の選手は予選で行う規定演技がすでに完璧で、自由演技の練習をしていました。ところが自分は規定演技だけで精一杯で、他県の選手のすごさに驚き、自分の力のなさを思い知りました。

試合当日、会場に入ると今まで経験したことがないぐらいの観客数と会場の大きさに驚くばかりでした。今から自分がここで演技するのかと思うと緊張でふるえがとまりませんでした。



演技は自分の力を出せた種目もあれば、力を出し切れずに失敗した種目もありました。最後の種目の跳馬で、足が床に吸い込まれるように「ピタッ」と着地し、自己最高の9.45の点数がつけました。このときの爽快感は生涯、忘れることがないと思います。

インターハイの出場によって学ぶことがたくさんありました。他県の選手からもいろいろなことを学び、今後の練習のよい刺激になりました。インターハイに出場できてよかったと思います。しかし、悔いが残った点もありますから、来年もインターハイに出場し、悔いの残らない演技を目指したいと思います。

第2回 ロシア語海外研修報告

教諭 角谷 昭美

平成17年10月22日(土)から26日(水)まで、4泊5日の日程でロシア・ウラジオストクを訪問してきました。参加生徒は、4名(男子2名・女子2名、3年生1名・2年生3名)で、校長先生と角谷が同行しました。交流校であるハーモニー校では、本校生徒のためのロシア語の特別レッスンをはじめ、比較文学・歴史・英語・民族舞踊・革細工など、様々な趣向の凝らした授業を体験することができました。また、「ロシアのお茶会」という行事では、ロシアの伝統芸能に親しみ、また、生徒達はロシア語で日本を紹介するプレゼンテーションを行い、相互理解のもと、楽しい時間を過ごしました。



州政府訪問も実現し、国際交流科のスタートを切った本校が、今後ともロシアとの関係を深めていけるよう、話し合いを持つことができました。

生徒達は、日が経つほどに積極的になり、日本にまだ帰りたくないと言う生徒も見られました。多くの友情をはぐくみ、日頃勉強してきたことを十分発揮し、さらに深めることができ、充実した研修であったと思います。



創立80周年記念事業実行委員会 発足

平成17年6月7日(火)、第2回同窓会役員会において林同窓会長より創立80周年記念事業実行委員会発足のご提案があり、役員会で承認された。これを受けて8月14日(日)、高岡商工会議所ビルで開催された『平成17年度如意ヶ丘同窓会総会』において議事進行のなか、「創立80周年記念事業について経緯ならび組織の説明をし、式典等の大綱・細部につき、実行委員会及び役員会に一任するとの件」を提案し、全会一致でご承認を得ました。尚、各会員の皆様には「趣意書」を同封させて頂きましたので、趣旨をご理解頂き賛同のうえ、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

実行委員会と責任者の組織図

実行委員会	委員会及び責任者
(実行委員長) 如意ヶ丘同窓会長 林 秀治	*名簿発刊委員会 山下利一
教育振興会長 山達是人	*記念誌発刊委員会 山下利一
PTA会長 三ノ宮効一	*式典、祝賀委員会 牧 亨
伏木高等学校長 西井秀子	*記念事業委員会 牧 亨
	*募金委員会 山口正志

事務局：横澤副校長

第20回

如意ヶ丘グリーン会ゴルフコンペ盛大に開催

と き●平成17年4月9日(土)

と ころ●氷見カントリークラブ (ダブルベリア方式)

参加者●93名

プレイ終了後、林会長ならびに横澤副校長の挨拶のあと下記の成績発表と懇親会が盛大に行われた。

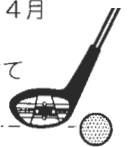
●成績は次のとおりでした●

優勝 富岡 利治 (伏高19回)	11位 林 幹夫 (北高7回)
次勝 沖野 栄二 (伏高19回)	12位 中山 竜夫 (伏高15回)
3位 高橋 明夫 (北高8回)	13位 小泉 哲二 (伏高26回)
4位 永井 克典 (伏高26回)	14位 橋本 英司 (北高8回)
5位 川端 武幸 (伏高12回)	15位 澤武 博 (伏高26回)
6位 佐野 隆 (伏高17回)	16位 田中 清 (北高9回)
7位 西田 巖 (伏高17回)	17位 田中 清夫 (伏高10回)
8位 石田 博 (伏高5回)	18位 海老 邦明 (伏高23回)
9位 中山 勝儀 (伏高15回)	19位 桜井 龍之 (伏高10回)
10位 矢坂 和昭 (北高6回)	20位 梶 卓也 (伏高29回)

お知らせ

如意ヶ丘グリーン会コンペは、毎年「4月第2土曜日」です。

各卒回の皆様、お互いにお誘い合わせてご参加されることを期待しています。



編集後記

如意ヶ丘同窓会会報を手掛けて早8年、この間大勢の方に寄稿協力・広告協力・情報提供を頂きました。厚く御礼申し上げますとともに、今後もご協力の程宜しくお願い致します。例年、4月第2土曜日に「如意ヶ丘グリーンコンペ」、8月14日に「如意ヶ丘同窓会総会」を開催しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(伏高15回卒 山下利一記)

INFORMATION

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
- ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
- ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日
- ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
- ⑤来年度の総会を8月14日(日)に予定しています。

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707